

平成28年度 第20回政策推進会議報告

日時 2月10日 9時30分～11時40分

場所 4-1会議室

出席者 23人

1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・兵庫県の住宅供給公社を市営住宅にするというのは、公共施設を減らしていかなければならないという現状に、逆行しているように思うが、何か特別な事情があるのか。考え方を教えてほしい。
- ・元々、一定期間が経過すれば市に帰属する契約となっており、今回それを現状有利になるため前倒して市に移管してもらったものである。この住宅を建てる際にも、市は出資金を出している。

(市長)他に同じような案件は無いのか確認したが、無いとのことである。

2 平成29年度主要事業等について

企画財政局長から資料に基づき報告。

3 平成29年度当初予算の概要について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・先日、収支見通しの説明を聞いた際に、先行会計の繰出し金を除いて実質的な収支均衡が図れたということが非常に印象的であったが、それを表現しなかった意図は何かあるのか。また、モーターボート競争事業の減り方が極端で126億円も減っており、営業費用の減と記載があるがその中身は何か。

モーターボート競争事業については、船券の払戻金で、平成28年度はSGレースがあり、当初予算で売り上げを94億円ほど見込んでいたが、平成29年度はSGレースが減ったため、その分船券の払戻金が大幅に減っているものである。もう一点として、長期性預金というのが、地方公営企業法全部適用に移行したことに伴い、基金を持っており、これを5月末で開始して取り崩しを行い、資本的収支ということで予算計上しなければならないものとなっている。次に取り崩しを行った分を長期性預金という大口の預金に預け入れるために、資本的支出ということで予算化しなければならない。それが、平成27年度末に約40億円ほどあったため、その分で126億円ほど差が生じている。

(市長)収支には影響ないか。

影響ない。収支均衡の件について、当初予算の概要は財政上の計数等を客観的に示していくものであり、また、先行会計を除いて収支均衡を図っていったというのは、行革の一つの意

図をもって、これまで議論した中で表しているものであるため、主要事業の一番最後に行革の説明を記載しており、その中で表しているということをご理解いただきたい。議会等には十分説明していこうと思っている。

(市長) 実質的な収支均衡については、施政方針では言おうと思っている。先行会計除きでの収支均衡という収支面での中期目標は当初予算段階で達成ができた。また、先ほど説明があったとおり、行政改革推進債を剥がすことができたが、一方で純粋に収支を見たときには、先行会計分の収支不足が残っているということと、将来負担の抑制に関する中間目標については、残念ながら達成が難しい状況となっている。未だ厳しい状況ということに変わりはないが、着実に前進しているというのが平成 29 年度当初予算の姿である。ゆるむことなく、ただ、定住転入促進というイメージ促進のため、着実に前に進んでいるということは発信していかなければいけないと思っており、ここのバランスが非常に難しい。

4 平成 29 年度の組織改正について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・広報担当課が秘書室に戻るということは、昔の体制でいうと中館 2 階の記者室の横に広報課があったが、そこに戻るのが。生活困窮者自立支援相談担当の場所が無くなってしまうことになるが、そこまで意図しているのか。

そこまでは意図していない。また協議をさせてもらおうと思っている。

・広報部門が記者室から離れている弊害もあるかと思う。

・ひと咲きまち咲き担当局の定数はどの程度になるのか。どの程度の規模の局となるのか。企画財政局はかなりの減となると思うが。

(市長) 局またぎの案件であるため、たくさん兼任をかける。実際の人数はどの程度か。

・先ほど定数条例の話で 36 人増えるという話もあったが、どの程度がいくのか。

ひと咲きまち咲き担当局の定数は 57 人、企画財政局は 39 人となる。規模的には企画財政局のほうが小さくなる。

(市長) 今の企画財政局は事業を持ちすぎている。

・現在の企画財政局の定数は何人か。

70 人である。

(市長) イメージとしては、100 周年担当は全て減で、ひと咲きまち咲き担当局の業務内容はこれまでも取り組んできているので、そういう意味では、純粋に増えたのは、みんなの尼崎大学関係のあたりである。市民協働局から移管してきているものもあるため、そこまで組織を大きくしてしまったとは思っていない。議会からも、2 年間集中して取り組む意図を聞かれていると報告を受けているが、100 周年のように臨時の仕事を行い、それが終われば解散するという 2 年限定ではない。次の新しい体制に移行するにあたり、交通整理を行い、色々と協議と準備をしなければならない案件をこの局に固めている。例えば、地域振興体制も地域密着型の職員を配置していくとなると、今の市民協働局とは相当姿が変わってくる。このような横串局をどのように位置づけていくか色々と議論があるところで、そういったことも含め、協議の準備をしていくということにもなる。生涯学習の面でも、教育委員会にあ

る社会教育と市長部局との形をどういものにしていくかというあるべき論に向けて、この2年間でしっかりと抜本的な組織改正に向けての準備と基礎固めに取り組んでもらう。ヘルスアップもこの局に移管されているが、ヘルスアップも保健部門と市民協働部門との兼ね合いということも含めて、今まで局またぎで取り組んできたが、そろそろ抜本的な改革も含めた次へのギアチェンジが必要だというところを、この2年間でしっかり取り組みたい。かなりのボリュームであるため相当しんどいと思うが、しっかりと取組を進め、平成31年度にはもう一度新しい体制に発展的に再編されることを目指している。このひと咲きまち咲き担当局については、多くの人たちが一緒に巻き込まれていくイメージになるため、よろしく願いたい。ダイバーシティ推進課については、もう一度多文化共生や男女の分野についても、男女では狭いというご意見もいただいたいるため、積極的に多様性のある状況を推進するため、このような課名にしている。

5 「尼崎市統合宛名システム 全項目評価書（素案）」に対する市民意見公募手続の結果等について

6 「尼崎市国民健康保険事務 全項目評価書（素案）」に対する市民意見公募手続の結果等について

7 「尼崎市介護保険事務 全項目評価書（素案）」に対する市民意見公募手続の結果等について

8 「後期高齢者医療事務 全項目評価書（素案）」に対する市民意見公募手続の結果等について

9 「尼崎市児童手当事務 全項目評価書（素案）」に対する市民意見公募手続の結果について

総務局長から資料に基づき、案件5から案件9まで一括で報告。

10 尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

健康福祉局長から資料に基づき報告。

11 尼崎市下水道中期ビジョンの前半期間の評価及び後半期間の取組について

都市整備局長から資料に基づき報告。

1 2 その他

- ・企画財政局長から、A-Lab 特別トークイベント（工場夜景の日）について説明。
- ・企画財政局長から、尼崎城プロジェクト説明会について説明。
- ・市民協働局長から、今後の尼崎市民まつりについて説明。

以 上